

総合的な学習の時間

総合的な学習の時間の目標を踏まえた各学校での目標設定

各学校では、総合的な学習の時間の*第1の目標と学校教育目標を踏まえ、独自に目標を定める必要があります。このとき、「**探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うこと**」「**よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成すること**」に配慮することが大切です。また、育成を目指す資質・能力である、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」について、第1の目標の趣旨を踏まえることが求められます。（*第1の目標は小学校及び中学校学習指導要領解説のP8に記載）

総合的な学習の時間の
構造イメージ

第1の目標 学校教育目標

各学校で定める目標

各学校で定める内容

探究的な見方・考え方とは、各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けることです。

横断的・総合的な学習とは、目標を実現するにふさわしい探究課題について、各教科等で身に付けた資質・能力を活用・発揮しながら解決に向けて取り組むことです。



各学校では、第1の目標等を踏まえ、地域や学校、児童生徒の実態を考慮して、独自に目標を設定します。

下線部aは「地域の人、もの、ことに関わる」ことを示して、目標の**具体化**を図っており、下線部bは、よりよく課題を解決することについて「**主体的・協働的に**」と**重点化**しています。また、下線部cは、理解すべきことを**具体化**しており、下線部dは、目指す人間性等について**付加**しています。

ある小学校が設定した目標の例（一部）

探究的な見方・考え方を働かせて、
a地域の人、もの、ことに関わる横断的・総合的な学習を通してb主体的・協働的に課題を解決し、自己の生き方を考えることができるように、次の資質・能力を育成する。

(1) 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能を身に付け、c地域の特徴やよさ、人々の願いや思いが分かり、地域が人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。

(2) (思考力、判断力、表現力等は省略)

(3) 地域の人、もの、こととの関わりを通して、探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、d地域に対する誇りと愛情を高め、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。

例えばある学年で、地域での体験活動を取り入れ、地域のよさや人々の努力などを知る単元を構想した場合、次のように**目標に応じて育成を目指す資質・能力を明らかにすることが大切**です。これらは単元の評価規準として活用することができます。



ア 知識及び技能（一部）

- ① 地域を訪問しての体験活動を通して、地域の特徴やよさに気付き、地域を支えている人々の願いや思いを理解することができる。
- ② 収集した情報を整理し、関連付けたり多面的に比較したりするなど、探究の課題に応じた技能を身に付けることができる。

イウ (思考力、判断力、表現力等は省略)

イウ 学びに向かう力、人間性等（一部）

- ① 課題解決に向けて、体験や活動対象に主体的に関わることができる。
- ② 異なる意見を受け入れながら、他者と協力して課題を解決することができる。
- ③ 自分と地域との関わりに気付き、地域への愛着を深めることができる。